

主の威厳

キー・ヴァース「主は王である！主は王である。
本当に、主は威厳に包まれ、力強く武装しておら
れる。世は堅く立ち、揺らぐことはない。」
詩篇93:1

厳選された聖典
詩篇93:1-5

私たちのレッスンは、素晴らしい黙想のための舞台を提供する。私たちの神を定義する資質にはどのようなものがあるだろうか？神の性質に関するさまざまな考えをふるいにかけてみると、高尚な洞察もあれば、そうでないものもある。ある人は、神についての彼らの認識は、神がはるかに大きな肉体的存在を体現していることを除けば、人間と同じであるという印象を私たちに残す。私たちの創造主は、私たち墮落した種族に顕著な性質を持っていると誤って非難されてきた。虚栄心、恣意性、残酷さ、無

神経さ、その他の間違った属性が彼に重ねられてきた。そのような非難は見当違いである。

本日のキー・ヴァースではまず、神の本質を示す証拠のひとつが、神が "支配している" ということである。神の支配はすべてを支配しているが、一時的ではあるが、罪と死の現在の許可のように、神の強大な力の行使を差し控えている領域もある。彼は物理法則を支配している。無から宇宙の広大さを生み出した。私たちが知っている宇宙の最も小さな構成要素でさえ、力と相互作用の複雑な法則によって制御されている。

詩篇の作者ダビデは「天は神の栄光を宣言する。天は神の栄光を告げ知らせる。天は日毎に語り続け、夜毎に神を知らしめる」(詩篇19:1-3)。(詩篇19:1-3)。夜、天の川を見上げる私たちの立場で、銀河系の美しさに驚かされたことがない人はいないだろう。天は私たちを魅了し、鼓舞する。雄大な山々、広大な海、実り豊かな平原、輝く森が私たちの周囲に響き渡り、神の御業に対する感謝の念を抱かせる。来る日も来る日も、夜な夜な、天と地の美しさは、誰もが理解できる言葉で人類に語りかけてくる。

そのメッセージとは、「神は実在する」というものだ！

"威厳をまとおられる"。これも神の本質を示す証拠である。　　、私たちはそれを　　"威厳"と呼ぶ。同様に、悪に対する偉大な道徳的勝利も、莊嚴と解釈するのが正しいだろう。威厳は、私たちの心を高尚な思考や感情へと駆り立てる。神は威厳をまとおられる。そのことを黙想することは、神の御姿をより深く理解することにつながる。「神は愛である。(第1ヨハネ4:8)。その愛は、神の威厳への感謝を呼び起こす。神は、私たちがこれまでに知っている最高の人々よりも、あらゆる面で偉大な方なのだ。ルカが記したイエスの言葉は、神の莊嚴さについて鋭い洞察を与えている。「さて、ある支配者がイエスに尋ねた。そこでイエスは彼に言われた。誰も善い者はいない。(ルカ18:18-19)。イエスは、私たちが善であると認識するすべての典型であったが、善の創造者である神だけが真に善であることを認めたのである。

神の本質を示す第三の証拠は、神が永遠であるということだ。何十億年という歳月が流れても、神を脅

かすことはない。なぜなら彼は時間の創造主だからである。日を追うごとに、エホバの威厳をよりよく理解できるように。